

◎成美地区公民館平成27年度運営の状況と評価

(1) 運営の状況

項目	状況
年間総利用者数	505 団体 のべ 8,403 名 (公民館使用簿より)
開催事業・講座	計 82 回 のべ 4,675 名参加 (うち道くさクラブ 32 回・834 名) (詳細は別紙「平成27年度事業実績」のとおり。)

(2) 評価

○評価項目及び評価

項目	評価の観点 (下記が適正にできているか)	特徴的取り組み・反省点など	評価
公民館の 目的・目標	・関係者(職員・役員)の 目的・目標理解と意欲的 取り組み	公民館の目的・目標について認識が薄いところ もある。まず運営委員から理解してもらうよう にすすめていきたい。	B
地域全体で 行う、まな びテーマの 把握・反 映・実践	・住民学習ニーズの把握及 び事業への反映 ・地域課題、生活課題、現 代的課題の事業への反 映(講座リスト活用) ・発達課題、家庭教育、奉 仕・体験活動に関する学 習機会設定 ・事業への住民参画推進	地域課題は色々あると思うがあまり把握で きていない。要求課題と必要課題が一致しない という問題点もある。 学校の統合にともない、船上キッズをたちあ げたとこ、地域も広がり、親子で多くの参加 者があつた。 水曜の放課後子どもの事業を受け継ぎ、ボラ ンティアの協力でスムーズな運営ができた。	B
より自主的 なまなびの ススめと広 がり	・自主運営学習グループづ くり推進 ・住民の自主学習支援 ・学習リーダー、講師育成 ・学習成果発表機会設定 (作品展など) ・関係団体と連携しての事 業実施	切り絵教室を開催したところ、自分たちで集 まってしたいという声があがってきたので、 リーダーを決めてサークル化をすすめたい。 町の文化祭・解放文化祭・合同作品展・公民 館祭など積極的に作品を出品した。 洋ラン展も 22 回を迎え、毎年楽しみにして もらっている。その反面、会員の高齢化があり、 新会員の募集を進めたい。	B
まなび情報 提供と職員 研修	・講座開催、学習グループ の情報提供 ・図書など資料の提供 ・職員研修(町教委主催な ど)への参加と自己研鑽	ホームページ掲載、音声告知放送など情報提 供に努めた。また、公民館に送られてくる各種 催しのパンフレットなどを見やすく掲示し来 館者にPRした。 県・町・郡公連主催の研修に参加し、研鑽を 続けた。	B
利用者目線 のまなびの 館づくり	・館管理、貸館、不在表示 の適宜実施 ・利用者への挨拶励行な ど、接客改善	不在表示を欠かさず行い、館利用が滞らない 様に努めた。館内外の清掃に努め、玄関周りの 花が絶えないようにした。来場者にはこちらか ら明るくあいさつをするように心がけた。	A
総括	・地域学習拠点として全体 総括 ・次年度に向けての改善点	全体的にはおおむね順調に進んでいる。 講座リストの活用や、地域の人材を発掘をし て活用していきたい。	合計 16 点 (20 点中)

※評価 A: 適切・十分(4点) B: 概ね適切・概ね十分(3点) C: やや不適切・やや不十分(2点) D: 不適切・不十分(1点)

○平成27年度事業実績

成美地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績(開催日・回数・参加人数等)
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	6回 のべ89名
	体育部長会	公民館の体育事業について協議	事業内容の把握と、業への参加と協力	2回・のべ30名
	水曜道くさ・お習字クラブボランティア連絡会	水曜道くさ・ボランティアが集まり学期毎に反省会を行う。	ルールの確認と情報交換 運営の潤滑化	年3回 のべ25名
	分館長会	1月に新区長が集まり、公民館活動についての説明を行う。	公民館事業の周知と各種行事への参加協力	1/17 21名
	佐崎河川公園整備協議会	佐崎河川公園整備活動計画と反省	各区長への作業協力依頼と日程調整	年2回実施 36名
	学校地域戦略会議	学校・公民館・文化センター・地域ボランティアが集まり連絡をとりあう。	地域と学校の連携	計7回
女性教室	キャンドルライト作り	プリザーブドフラワーとLEDライトを使ってクリスマスのキャンドルライトを作る。	参加者同士の交流と季節の小物で生活を潤す	11/15 15人
	視察研修	醤油工場の見学や和菓子作り体験などを行う。	食をテーマにして内容を深め、参加者同士の交流を深める	12/6 16人
	切り絵教室	地域の切り絵作家を講師に2回シリーズで切り絵を学ぶ	切り絵の手法を取得し、公民館際への出品、サークル作り	1/16.1/30 20人
成人教室	俳句教室	定例句会を開き、季節の句を詠む	俳句を通して四季を感じ、感性を養う	5回 のべ60名
	写真教室	写真を持ち寄り、意見交換を行う	写真撮影の技術向上	2回 のべ10名
	ミニ門松作り	正月に飾る室内用のミニ門松を作る	現代にあわせた伝統行事の伝承	12/20 13名
	チャレンジ登山	赤碕中学校区の4館共催で山楽会の協力を得て登山を行う	自然に親しみ、健康づくりと親睦を深める	5/24 20名 11/3 18名
	園芸教室	年間を通してシンビジウムの栽培管理と情報交換。	花作りの栽培意欲の向上と、生きがいづくり	2回 のべ16名
船上キッズ	ナイトウォークラリー	以西地区公民館事業と協賛で行う。グループを作りポイントを通りながら以西地区を歩いて回る。	歩いて回ることで、地域の再発見と、チームで協力し合う心を養う。	7/25 83名
	夏の星座観察会	倉吉博物館の大型天体望遠鏡を借り、秋の星座の観察を行う。	親子で夜空を眺め、天体への興味を深める	8/10 28名
	クリスマスカード作りと牛乳を使った料理教室	モーモーカウイクラブの協力で牛乳を使った料理作りとプレゼント用の飛び出すクリスマスカードを作る。	クリスマスのカードや	12/19 14人
放課後支援	水曜道くさ・お習字クラブ	下校の早い水曜日に、公民館で習字を習う。宿題をしたりボランティアさんと一緒に遊んだりする。	習字を通して、あいさつや礼儀なども学ぶ。他の学年と一緒に遊び交流を深める。	毎週水曜日 計32回実施 のべ834名
体育行事	グラウンド・ゴルフ大会	各部落に参加呼びかけ、団体戦・個人戦をあわせて行う。小学生から高齢者まで幅広い参加で交流を推進	健康増進と地域住民の親睦を深める。	6/20 83名
	ソフトボール大会	盆の帰省客を交えて部落対抗で行う	健康増進と地域住民の親睦を深める。	8/15 70名
	町民運動会	保育園から高齢者まで広い年齢層が参加しやすいプログラムで実施	健康増進と地域住民の親睦を深める。	10/4競技延べ参加人数役2,000人
	なわとび大会	部落対抗で跳んだ数を競う	健康増進と地域住民の親睦を深める。	2/14 9チーム36人

	卓球大会	団体戦・個人戦(男・女・中高生・親子)で行う	健康増進と地域住民の親睦を深める。	2/14 団体9チーム 個人46人
催し	公民館祭	公民館活動・小学校・保育園・文化センターなどの作品展示。	作品の発表の場を設ける	作品出品約100名
	かくし芸大会	各部落が出場の他、地域団体やゲストも出演	練習を通して地域住民の親睦を深める	2/14 7部落・2団体・個人2人 118名
	福井正樹さんミニライブ	男女共同参画の視点で歌とトークをまじえて	かくし芸大会後に行うことで多くの人に聞いてもらう	約150名
	囲碁・将棋大会	地域住民が囲碁・将棋の腕を競い合う	参加者の親睦を深める	10名
	第22回洋ラン展	園芸教室会員の育てたシンビジウムを展示する	ラン展で花を見てもらうことで栽培意欲の向上を図る	4/17～19 出品数 87鉢 来場者380名
	戦争と平和の詩朗読会	朗読ボランティアの方に、戦争の詩の朗読や紙芝居を読んでもらう。	戦後70年経ち、戦争の記憶が薄れる中、平和について学ぶ。	8/6 18人
	男女共同参画講演会	船上小学校PTAとの共催で、スマホ・インターネットについての講演会を行う。	情報化社会から子どもを守るために親ができることを学ぶ。	12/1 67人
展示	古民具収集	古民具を集め、展示カードを作成し展示する。	道具を通して昔の生活の様子を知る。	年間
諸活動	佐崎河川公園整備協議会	地域住民、船上小学校、成美保育園の協力を得て、年5回河川公園の清掃美化活動を行う。	年間を通して清掃作業を行うことで環境美化を保つ	年5回実施のべ参加人数249名